

大学院特別講義

演題：遺伝子異常に基づく肺腺がん個別化治療の拡大の試み

講師：河野 隆志 先生

国立がん研究センター研究所
ゲノム生物学分野 分野長

日時：平成24年6月25日（月） 15:00～16:30

場所：小講堂

対象：大学院生、学部生、教職員

概要：最も高頻度な組織型の肺がんである肺腺がんの多くはEGFR, KRAS, ALKがん遺伝子の活性化に依存して発生する。EGFR, ALKタンパク質を標的としたチロシンキナーゼ阻害剤はEGFR遺伝子変異、ALK遺伝子融合を持つ肺腺がんに治療効果を示す。私たちは全転写産物シーケンシングにより、肺腺がんの1-2%に存在するKIF5B-RET融合遺伝子を新たな治療標的がん遺伝子として同定した(Kohno et al, Nat Med, 2012)。遺伝子異常に基づく肺腺がんの個別化治療の可能性について議論したい。

創薬探索特論の履修者は必ず受講して下さい。

静岡県立大学大学院薬学研究院
創薬探索センター 浅井 章良
電話：054-264-5231
E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp